

<事務局便り>

平成18年度炉物理部会運営委員

部会長 (1年)	関本 博 (東京工業大学)
副部会長 (1年)	代谷 誠治 (京都大学)
庶務幹事 (1年)	小原 徹 (東京工業大学)
庶務幹事 (2年)	三澤 毅 (京都大学)
部会等運営委員会担当運営委員	岩崎 智彦 (東北大学)
編集委員会担当運営委員	山本 章夫 (名古屋大学)
シグマ委員会担当運営委員	森 貴正 (日本原子力研究開発機構)
HP 担当幹事	外池 幸太郎 (原子力機構)
HP 担当幹事	須山 賢也 (原子力機構)
HP 担当幹事	奥村 啓介 (原子力機構)
財務小委員会担当幹事 (1年)	小坂 進矢 (テプコスシステムズ)
財務小委員会担当幹事 (2年)	安藤真樹 (日本原子力研究開発機構)
編集小委員会担当幹事 (1年)	吉岡 研一 (東芝)
編集小委員会担当幹事 (2年)	卞 哲浩 (京都大学原子炉実験所)
セミナー小委員会担当幹事 (1年)	代谷 誠治 (京都大学)
セミナー小委員会担当幹事 (1年)	三澤 毅 (京都大学)
学術交流小委員会担当幹事 (1年)	山本 敏久 (大阪大学)
学術交流小委員会担当幹事 (2年)	田渕 士郎 (三菱重工)
学生・若手小委員会担当幹事 (1年)	横山 賢治 (原子力機構)
学生・若手小委員会担当幹事 (2年)	佐藤大介 (三菱重工)

編集小委員会からの御願い

部会報に対するご意見・ご要望などがございましたら、編集小委員会までお知らせ下さい。また、部会報の原稿として、「部会員の声(自由投稿欄)：内容不問で自由に投稿・意見を述べられる場」を常時募集しています。また、部会ニュース(ホームページに掲載)の原稿もございましたらお知らせください。

連絡先：編集小委員会(会報担当)

吉岡 研一 kenichi.yoshioka@toshiba.co.jp

卞 哲浩 pyeon@kuca.rri.kyoto-u.ac.jp

炉物理部会員の名簿は、日本原子力学会の名簿に基づいて作成しております。学会名簿は、部会報の郵送、部会メーリングリストの発信先 E メールアドレス、部会ホームページにおける名簿検索などに使用されます。勤務先、メールアドレス等に変更がある場合には、速やかに日本原子力学会に登録情報の変更手続きをして頂くようお願いいたします。変更手続きは、以下の URL からオンラインで申請が可能です。

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/aesj/member/henkou.html>

日本原子力学会炉物理部会第 25 回総会議事録

日時：平成 18 年 3 月 24 日（金） 12：00～13：00

場所：日本原子力研究開発機構大洗研究センター核熱利用試験棟 2 階

（日本原子力学会 2006 年春の年会M会場）

配布資料：

1. 炉物理部会第 25 回総会議事案
2. 平成 17 年度炉物理部会収支予算 実績（見込）報告
3. 平成 17 年度～18 年度炉物理部会運営委員
4. 第 25 回日本原子力学会炉物理部会 平成 17 年度活動報告及び審議メモ
5. 炉物理部会 web システムなどについて 一報告と依頼一
6. 「部会等運営委員会（平成 17 年度下期分）」のご報告
7. 平成 18 年度炉物理部会収支予算案
8. 炉物理夏期セミナーについて
9. 大強度陽子加速器プロジェクト(J-PARC)の核変換実験施設に対する予備的な研究提案 (Letter of Intent : LOI)の募集案内
10. JAEA-KEK Joint Project on High Intensity Proton Accelerators J-PARC Project Office
11. 核データ部会・炉物理部会の次期合同アクションのための準備委員会の発足について

議事：

・ 17 年度決算報告

小坂委員（財務担当）より、配布資料 2 に基づいて平成 17 年度決算報告があり、了承された。

・ 17 年度編集活動報告

羽様委員（編集担当）より平成 17 年度部会報発行についての報告があった。

・ 17 年度学術研究交流活動報告

松本委員（学術交流担当）より平成 17 年度の日韓サマースクールを 6 部会合同で実施したこと等について報告があった。

・ 17 年度運営委員選出

次期運営委員案について配布資料 3 に基づき山根部会長から説明があり、炉物理委員会担当運営委員についてはとりあえず未定とし、また財務小委員会委員については長家氏に

代わり、安藤真樹氏（原子力機構）と修正することで承認された。

（交通機関のトラブルによって到着が遅れた関本新部会長に代わり、この後も山根前部会長が引きつづき議事を進行した。）

・ 炉物理委員会担当運営委員について（配布資料 4）

山根前部会長から、旧原研の炉物理研究委員会が廃止されたことを受けて以下のことが提案され、了承された。

○ 炉物理研究委員会の担当運営委員を廃止する。

○ 新しく原子力機構で発足するシグマ委員会担当の運営委員を選出し、シグマ委員会とのリエゾンの役割をしてもらう。

○ 担当委員はシグマ委員会の原子力機構の委員から選出することとし、平成 18 年度委員については今後決定する。

○ 今後、個別のテーマ等について検討の必要が生じた場合には個々に対応する。

・ 部会HPへの名簿掲載について（配布資料 4）

山根前部会長より個人情報保護についての要請が学会事務局よりあった旨説明があり、その後須山委員より配布資料 5 に基づいて以下の説明があり、了承された。

○ 部会員で部会からのメールを受け取っていない人は担当委員に連絡する。

○ アドレス変更は web 上で各自が行う。不明な点がある場合は須山委員に問い合わせる。

○ 学生会員の関係者（教員等）は可能であれば卒業後の新アドレスを連絡する。

○ 部会の成果を掲載するページが全く活用されていない。ページの廃止を含め、対策を運営委員会で決める。

○ 個人情報保護の観点から web での部会員個人名の掲載をやめた。運営上不便であるという意見もあるため、その対策については運営委員会で決める。

・ 次期代議委員の選出について（配布資料 4）

山根前部会長より、代議委員の選出について、これまでのルールでは不都合が生じたため、部会長、副部会長と相談の上で新ルールを定めたとの報告があり、新ルールが承認された。これにより平成 18 年度代議員は、関本部会長及び山根前部会長を推薦することとなった。

・ 炉物理部会表彰制度について（配布資料 4）

山根前部会長より、炉物理部会表彰制度について、前回総会から特に意見がなかったのが原案通りに承認することが提案され、了承された。

・フェロー会員の推薦方式について (配布資料 4)

山根前部会長より、フェロー会員の推薦方式について、前回総会以降今回までに寄せられた意見がなかったため、原案通り承認いただきたいとの提案がなされ、了承された。

・日韓合同セッションについて (配布資料 4)

山根前部会長より、次回日韓合同セッションについて、2006 年 10 月に核データ部会と合同で開催予定であり、今後核データ部会と内容を詰める旨の報告があった。また今後の開催方式については、核データ部会から「炉物理部会、核データ部会、韓国でルールを明確化したい」と提案が来ているとの報告があった。

・炉物理部会報の発行方法について

中島委員より、アンケートの結果冊子での部会報配布の希望が 5 件あった旨説明があり、原則として今後部会報は web 公開とし冊子を希望している部会員については編集担当委員が冊子版を作成して送付することが提案され、了承された。これに関連して、web 版では個人情報掲載について注意する必要があるとの意見が出され、編集の際に留意することとした。

・部会等運営委員会 (平成 17 年度下期分) 報告

青木委員より、部会等運営委員会活動について配布資料 6 に基づき報告があった。この中で、現在 3 年任期となっている部会等委員について 2 年任期とする必要があるとの説明があり、部会の運営委員会で対応することとした。

・編集委員会報告

中島委員より、1) 編集委員の一部交代について検討中であること、2) 論文誌掲載料見直し、投稿規程の改正 (論文と技術報告の区分の廃止) について編集委員会で検討されていること、3) 学会誌をより読みやすくするため、紙面が変わる予定であること、4) 編集委員会推薦により 2 年連続で炉物理分野から学会賞 (論文賞) 受賞者がでたこと、などについて報告があった。

・平成 18 年度予算案について

小坂委員より、配布資料 7 に基づき平成 18 年度予算案について説明があり、了承された。このなかで繰越金は年々減少しており今後何らかの対策が必要である旨指摘があった。

・平成 18 年度炉物理夏期セミナーについて

宇根崎氏 (三澤委員代理) より配布資料 8 に基づき来年度の炉物理夏期セミナーの開催日、場所等について説明があった。テーマとしては「燃焼」を中心に考えているが、もし取り上げてほしいテーマがあったら連絡してほしいとの要請があった。

・ J-PARC 研究提案について

辻氏より配布資料 9、10 に基づき J-PARC の予備的な研究提案の募集について説明があり、広く提案を寄せてほしいとの要請があった。

・ 懇親会について

伊藤委員より、本学会会期中に開催予定の炉物理部会懇親会について説明と参加者の追加募集に関する案内があった。

・ 核データ部会・炉物理部会の次期合同アクションのための準備委員会の発足について

石川氏より、表記の件について配布資料 11 に基づき説明があり、1) 表記準備委員会を立ち上げること、2) 提案するテーマは準備委員会で検討を行うこと、3) 準備委員のメンバーはメールで募集すること、4) 最低 1 回は会合を開くこと、5) 最終的に研究専門委員会設置の提案を目標とすること等について説明があり、本取り組みを炉物理部会として承認することが提案され、これを了承した。

・ 新部会長挨拶

関本新部会長より挨拶があり、今後の活動について長期的展望に立った提案があったら是非寄せてもらいたい旨要請があった。

第25回総会で提起された懸案事項とその対応状況について

庶務幹事 小原 徹

1. シグマ委員会担当運営委員の選出

本総会で部会長より提案。

2. 部会HPの部会成果を掲載するページの扱い

平成18年5月に該当ページを閉鎖した。

3. 部会HPの名簿の扱い

平成18年7月に検索機能を持たせた名簿ページを開設した。当該ページは炉物理部会員宛メーリングリストで連絡したパスワードがないと閲覧できない。また一覧表として閲覧できるのは氏名、所属のみで、連絡先等は検索機能を用いないと調べることは出来ない。開設前にメーリングリストで周知し、3週間ほど掲載削除希望者を募ったが申出はなかったため、自宅住所等が連絡先になっている人を除き全員掲載した。

4. 炉物理部会表彰規定

運営委員会で規程案を作成した。本総会で規程案提案。

5. フェロー会員の推薦

部会長より本総会で推薦者提案。

6. 日韓合同セッション

運営委員会で今後の対応について検討した。部会長より本総会で方針の提案。

7. 部会等運営委員の任期

平成18年5月の部会等運営委員会に部会長名で任期を3年から2年に変更するよう要望書を提出した。

8. 部会予算について

運営委員会での検討結果について本総会で報告。

9. 2006年秋の大会での部会・連絡会企画セッションの提案の検討

炉物理部会・核データ部会合同企画セッション「分離変換技術の実現に向けて炉物理・核データは如何に寄与できるか」を提案し、提案どおり採択され本大会で開催予定。

日本原子力学会炉物理部会第 26 回総会議事次第

日時：平成 18 年 9 月 28 日 (木) 12:00～13:00

場所：北海道大学情報科学研究科棟 A21

(日本原子力学会 2006 年秋の大会 0 会場)

配布資料：

1. 第 25 回総会で提起された懸案事項とその対応状況について
2. 第 37 回 炉物理部会夏期セミナー収支報告書
3. 平成 18 年度 炉物理部会収支予算 中間報告
4. 部会運営に関する提案及び報告
5. 炉物理部会表彰規定 (案)

議事：

1. 第 25 回総会で提起された懸案事項とその対応状況について (小原庶務幹事)
2. 炉物理夏期セミナー報告 (全体報告・収支報告) (三澤担当幹事)
(若手研究会報告) (横山担当幹事)
3. 部会会計中間報告 (小坂担当幹事)
4. 編集小委員会報告 (代理：小原庶務幹事)
5. 学術交流小委員会報告 (山本敏久担当幹事)
6. 部会等運営委員会 (平成 18 年度上期) 報告 (岩崎委員)
7. 学会編集委員会報告 (山本章夫委員)
8. シグマ委員会担当運営委員の選出について (関本部長)
9. 次回夏期セミナー幹事機関について (関本部長)
10. フェロー会員の推薦について (関本部長)
11. 2007 年春の大会企画セッションについて (関本部長)
12. 炉物理部会表彰規定案について (小原庶務幹事)
13. 日韓合同セッションについて (関本部長)
14. 日韓サマースクールについて (関本部長)
15. 部会予算方針について (関本部長)
16. 部会活動の検討について (関本部長)
17. その他

編集後記

平成 18 年度の編集が大変遅れましたことをここにお詫び申し上げます。原稿執筆を依頼させていただきました方々には多大なご迷惑をお掛けし大変申し訳ございませんでした。おかげさまで無事発行することができ、皆様のご協力に深くお礼を申し上げます。

今年度からは部会誌は WEB 版となりました。より広くの方々に読んでいただくため、また、少しでも技術開発や研究の役に立つような情報を提供できるようにと、トピックを企画いたしました。より多くの方々に興味を持っていただければ幸いです。

(編集小委員会：吉岡 研一)